

## 株主の皆様へ

### ごあいさつ

平素は、株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成17年7月31日をもちまして、第22期の中間決算（平成17年2月1日から平成17年7月31日まで）を終了いたしましたので、ここに中間事業報告書をお届けし、事業の概況についてご報告申し上げます。

今後も引き続き、株主価値の向上を念頭においた経営をしてまいりますのでございます。

株主の皆様には、引き続き当社の株主として、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 兎玉俊明

〔当社取扱いブランド〕



pour le mieux



## 当中間期における概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、輸出の鈍化が見られるものの、IT・デジタル製品の在庫調整進展、設備投資の増加等により景気は調整局面から抜け出しつつあります。製造業を中心とした企業業績は引き続き良く、雇用情勢に改善が見られております。個人消費は、所得環境が良くなりつつも未だ力強さに欠けている状態にあります。カジュアルウェア業界においては、差別化した商品及び店舗戦略の成否により企業業績が左右され、競争の熾烈さが増しております。

このような状況の中で、卸売事業部門では、今春、ジーンズカジュアル専門店及びスポーツ専門店向けに立ち上げた本格サーフブランド「RUSS・K」の春夏商品発売にあたり坂口憲二氏をイメージキャラクターとしたテレビコマーシャルを中心にキャンペーンを実施致しました。また、主力ブランド「T&C Surf Designs」(タウン&カントリー)を中心とした販売活動に努めました。

小売事業部門においては、昨年より開始したSPA業態としてのレディースブランド「プーレミュー」(カジュアルウェア)で専門店ビル及びショッピングセンターへ5店を出店致しました。尚、「ニディア」(キャリアウェア)については平成17年2月25日に「SPA事業「ニディア」の展開休止について」に開示しましたとおり、当初予測と比較して、採算ラインに到達させるには、多くの時間を要するとの判断に至り休止し、5店を廃止致しました。

ライセンス事業部門においては、「T&C Surf Designs」(タウン&カントリー)ブランドを主体としたライセンスアイテムの拡充と新ブランド「RUSS・K」の開拓に努めました。

当中間会計期間の業績は、卸売事業部門で第1四半期に新ブランド「RUSS・K」の立ち上がりが遅れたこともあり売上減となりました。小売事業部門では前事業年度より新店舗を出店した「プーレミュー」等の売上増が寄与致しました。

その結果、売上高は9,064,420千円(前年同期比2.0%増)、営業利益は506,431千円(前年同期比19.1%増)、経常利益は507,847千円(前年同期比22.9%増)中間純利益は199,671千円(前年同期比2.9%減)となりました。事業部門別売上高は、以下のとおりであります。

卸売事業部門は、第2四半期に前年同期並みの売上高を確保したものの、第1四半期での新ブランドの立ち上がり遅れが影響し、前期比4.8%減の6,469,729千円となりました。小売事業部門の売上高は、前期比35.9%増の1,892,455千円となりました。ライセンス事業部門では、

前年比0.8%増の702,236千円となりました。  
通期の見通しについては、引き続き原油価格高騰、これに起因する一次産品価格の上昇から企業の価格転嫁も予測され、楽観できない状況が続くと見られます。個人消費は全般的な回復とまでに至らず、カジュアルウェアマーケットにおいては、引き続き厳しい状況にあると思われま

す。そのような状況において当社は、下記の施策を実施致します。

卸売事業部門では本年秋冬において「T&C Surf Designs」(タウン&カントリー)において若年層に支持の高いアーティスト「ORANGE RANGE」をイメージキャラクターに起用し開発したコラボレーション・ウェアをテレビコマーシャルを中心にキャンペーン展開してまいります。

新ブランド「RUSS・K」は、引き続きイメージキャラクターに坂口憲二氏を起用した店頭ポスター及び雑誌等での紙媒体を中心としたイメージプロモーションに力を注ぎブランドの浸透に努めてまいります。

小売事業部門においては、昨年立ち上げ店舗展開しておりますレディースブランド「プーレミュー」の知名度向上と拡販に努め、事業の確立を進めてまいります。

また、新たに本年9月より、ファミリー層をメインターゲットに捉え、サーフカジュアルウェアを中心とするSPA業態「Coral Point」(コーラルポイント)の新店を開始し、新市場を開拓してまいります。

これらの諸施策実施により、従来の卸売事業に加え、SPA業態における小売事業の基盤強化と新市場の創造に注力し、更なる成長を目指してまいりますと存じます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 事業部門別売上高推移表

(単位：百万円)

	平成15年 7月期	平成16年 7月期	対前期 伸長率	平成17年 7月期	対前期 伸長率
売上高	8,522	8,889	4.3%	9,064	2.0%
卸売事業	6,459	6,796	5.2%	6,469	△4.8%
小売事業	1,422	1,392	△2.2%	1,892	35.9%
ライセンス事業	640	696	8.8%	702	0.8%
その他事業	—	3	—	—	—

## 中間貸借対照表

(平成17年7月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>10,092,262</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>6,461,864</b>
現金及び預金	3,629,412	支払手形	3,874,601
受取手形	968,145	買掛金	595,516
売掛金	3,835,358	一年内返済予定長期借入金	942,254
たな卸資産	1,408,067	未払金	721,128
その他	283,965	引当金	12,137
貸倒引当金	△32,687	その他	316,225
<b>固 定 資 産</b>	<b>2,335,926</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,018,275</b>
有形固定資産	886,883	長期借入金	726,811
無形固定資産	212,876	その他	291,463
投資その他の資産	1,236,166	<b>負 債 合 計</b>	<b>7,480,139</b>
敷金・保証金	892,515	<b>資 本 の 部</b>	
その他	352,819	<b>資 本 金</b>	<b>996,650</b>
貸倒引当金	△9,167	<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>1,262,690</b>
<b>繰 延 資 産</b>	<b>70,123</b>	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>2,747,545</b>
		利益準備金	1,951
		任意積立金	2,205,060
		中間未処分利益	540,534
		その他有価証券評価差額金	11,287
		<b>資 本 合 計</b>	<b>5,018,172</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>12,498,312</b>	<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	<b>12,498,312</b>

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書

(自 平成17年2月1日)  
 (至 平成17年7月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	営業収益		
	売上高		9,064,420
	営業費用		
	売上原価	4,481,726	
	売上総利益		4,582,694
	返品調整引当金戻入額		17,773
	返品調整引当金繰入額		△12,137
	差引売上総利益		4,588,329
	販売費及び一般管理費	4,081,898	
	営業利益		506,431
営業外損益の部	営業外収益		18,436
	営業外費用		17,019
経常利益			507,847
特別損益の部	特別利益		98
	特別損失		117,190
税引前中間純利益			390,756
法人税、住民税及び事業税		180,525	
法人税等調整額		10,559	191,084
中間純利益			199,671
前期繰越利益			340,862
中間未処分利益			540,534

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 会社の概況

(平成17年7月31日現在)

資本金	9億9,665万円
発行済株式の総数	24,715株
株主数	2,762名
従業員数	233名

### 主要な事業内容

当社は、カジュアル衣料の企画を行い商社を通じあるいは直接海外のメーカーに製造を委託し、製品の卸売及び小売を行っております。また、衣料品を中心とした海外ブランドについて国内でのライセンス事業を営んでおります。

## 取締役および監査役

代表取締役会長	茂木 眞一
代表取締役社長	児玉 俊明
専務取締役	藤田 潔
常務取締役	宮下 孝春
常務取締役	浦部 万壽男
常勤監査役	田中 義男
常勤監査役	太田 明
監査役	丹羽 一彦

## 株 主 メ モ

決 算 期	毎年1月末日
定時株主総会	毎年4月
基 準 日	毎決算期の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その決算期に関する定時株主総会において、株主の権利を行使すべき株主といたします。
配当金および 中間配当金	利益配当金は毎決算期末現在の株主に、中間配当を行う場合は毎年7月末日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

### 【お知らせ】

平成17年10月1日より、当社名義書換代理人は合併によりUFJ信託銀行株式会社より三菱UFJ信託銀行株式会社に変更になっております。

〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目5番15号  
株式会社 クリムゾン  
TEL :03(3548)1515 (代表)  
URL :<http://www.crymson.co.jp>